

つくってみよう② クレピス

■ ■ カッターやとがったものを使うので、かならず大人の人と一緒に作業してください ■ ■

クレピス作りの工程

- ① 革を用意する
- ② 道具を用意する
- ③ 型紙を作る
- ④ 革を切り、パーツを作る
- ⑤ パーツを貼り合わせる
- ⑥ パーツを結び合わせる

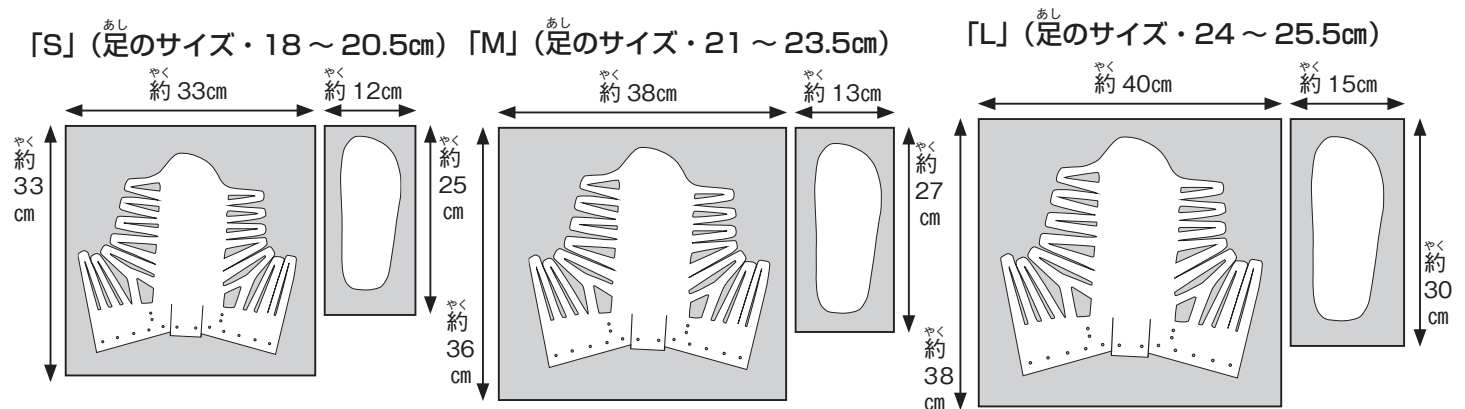
それぞれの工程を順をおいて追って解説していきます。

① 革を用意する

○牛の革や 100 円ショップで売っている合成皮革などで試してみましょう。

○厚さ…約 1mm の革が工作に適しています。

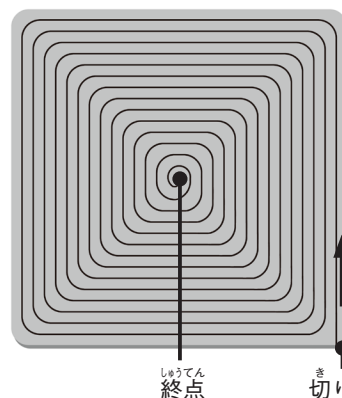
○必要な大きさ…型紙のサイズによって違ってきます。
以下を目安にしてください (片足分)。



○革ひも…パーツを結ぶのに幅約 5mm の革ひもを約 150cm × 2本、25cm × 2本、15cm × 4本使います。平らで幅約 5mm ~ 10mm のひもでも代用できます。

○購入…革を売ってるお店や 100 円ショップなどが近くになければ、インターネット通販などをご利用ください。「レザー」「レザークラフト」などの言葉で検索すると、多数の販売店を探せます。

● 革ひもの切り出し方 ●
革の外から内へ向かって、同じ幅を保つように、ハサミでグルグルと切る



・約 15cm × 15cm の大きさから、5mm 幅の革ひもを約 3m50cm 作ることができます。
・革の厚みは約 1mm あると、しっかりしたひもになります。

2 どうく ようい
道具を用意する

はさみ



かわ かたがみ き かわ き
革や型紙などを切る。革を切るた
めには刃が厚手の工作用はさみが
でき
適している

カッター



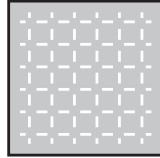
はさみで切りにくいところをカッ
トする

筆記具



ボールペンか細いマジックが適し
ている

カッターマット



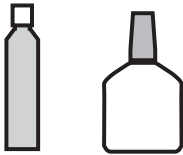
かたがみ かわ き とき したじ
型紙や革を切る時に下敷きにする

定規



カッターを当てて、真っ直ぐに切
る時に使う。15cm以上のもの
がよい

接着剤



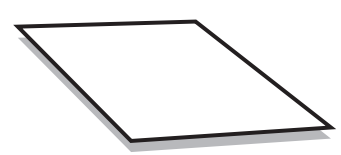
型紙を作る（紙同士を貼る）時に
はのり、革を貼る時には木工用接
着剤を使う

穴あけ道具



キリ、千枚通しなど、厚紙と革に
穴を空けられるとがったもの

厚紙



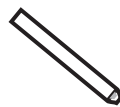
型紙の台紙になるボール紙や厚め
の画用紙など。B4以上か、A4
サイズをつないで使う

紙やすり



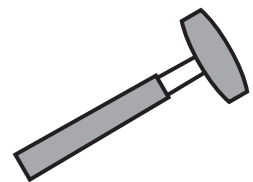
革のつるつるした面を接着する時
は、60番前後の荒めのものでも表
面を削るとよくつく

ポンチ



「ハトメ抜き」ともいう。クレピ
スでは5mmサイズを使う

トンカチ



ポンチを打つのに使う

打ち台



ポンチを打つ時、机などに傷がつ
かないよう、下敷きを使う。木の
板など傷がついてもかまわないも
のを使う

クリップ

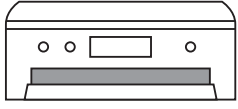


クリップや洗濯バサミなど、仮止
めに使うと便利

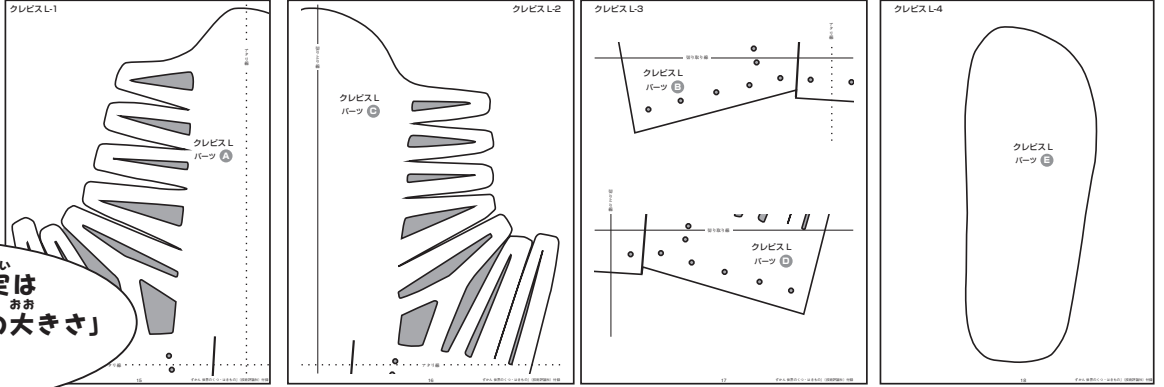
3 **かたがみ つく 型紙を作る**

かたがみ あつがみ は は き ぬ 型紙のプリントを厚紙に貼って切り抜きます。ここでは「L」サイズで説明します。 せつめい

① プリントアウトする。

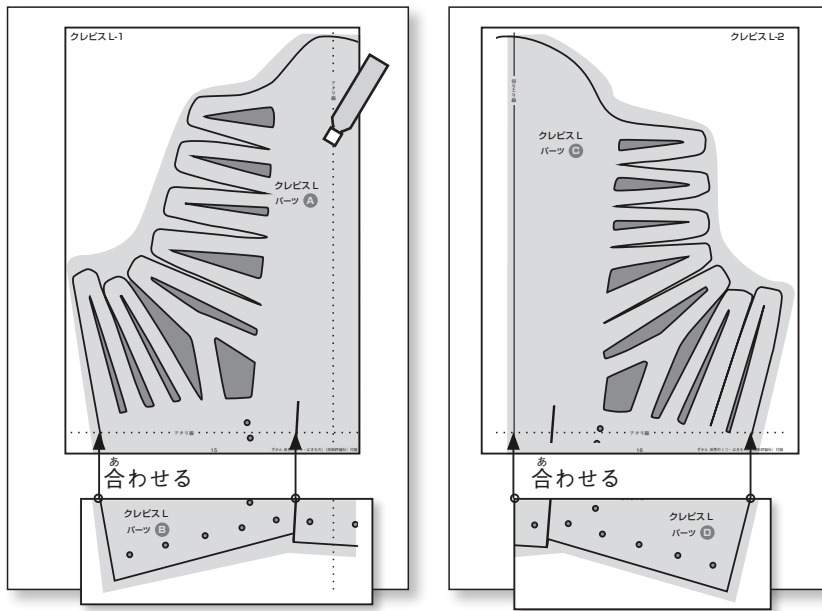


プリンターの せってい は じっさい おお **A4「100%」か「実際の大きさ」** でプリント

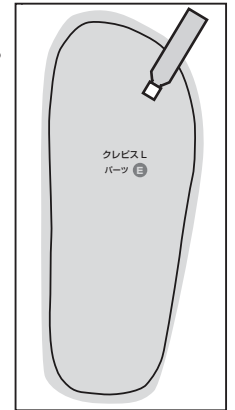


② 厚紙に貼る (クレピスLは大きいので厚紙も貼り合わせる)。

…裏にのりを塗る範囲 (これ以外の紙の余分な部分は切り取ってかまいません)

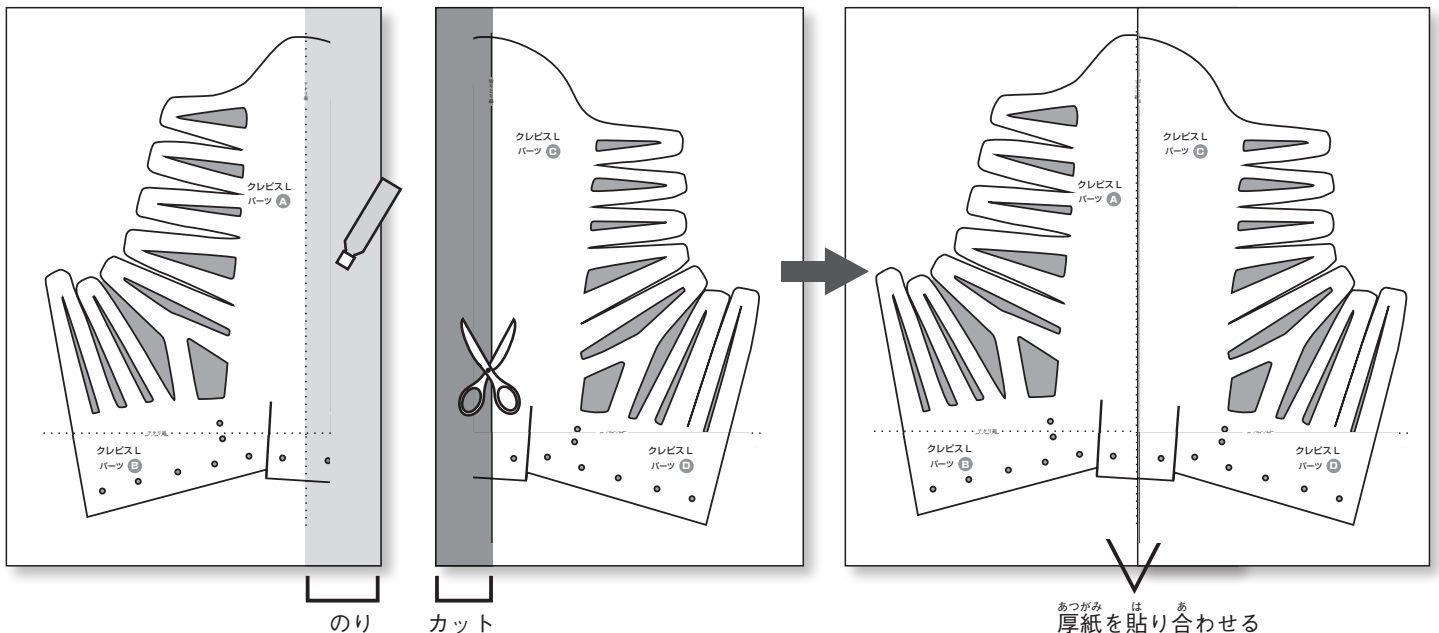


- **パーツ A** を厚紙に貼り、**パーツ A** と「アタリ線」に合わせて**パーツ B** も貼る。
- 別の厚紙に、**パーツ A・B** と同じように**パーツ C** と**パーツ D** を貼る。
- **パーツ E** も厚紙に貼る。

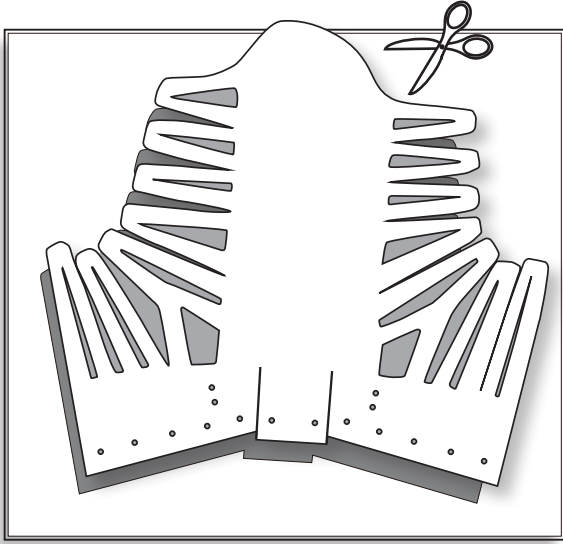


③ **パーツ A、B** のアタリ線の右にのりを塗る。**パーツ C、D** の型紙は切り取り線で切る。

そして **A、B** の厚紙のアタリ線に合わせて、**C、D** を貼り合わせる。

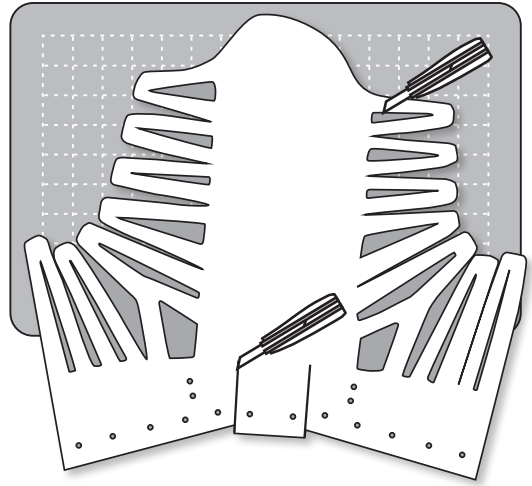


④まわりの線^{せんきと}を切り取る。

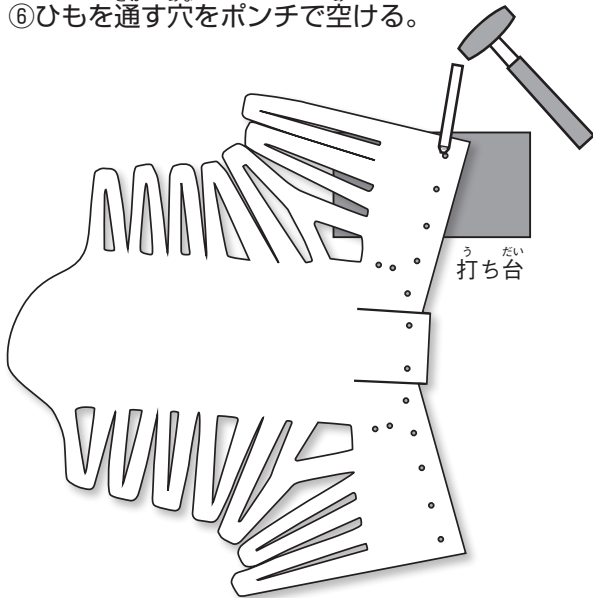


⑤黒い部分^{くろぶぶんきぬ}を切り抜き、かかと部分^{かかとぶぶんきめい}に切れ目を入れる。

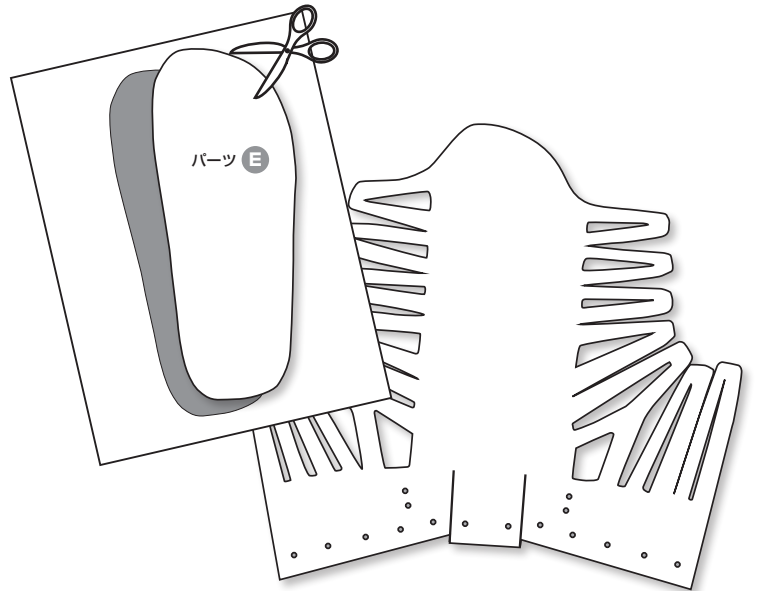
カッターマット



⑥ひも^{ひも}を通す穴^{あな}をポンチ^あで空ける。

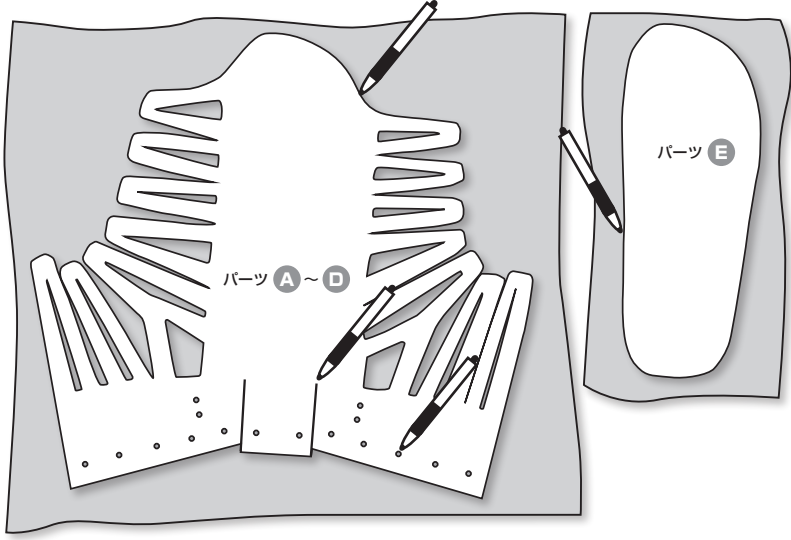


⑦パーツE^{きぬ}も切り抜き、型紙^{かたがみ}のできあがり。

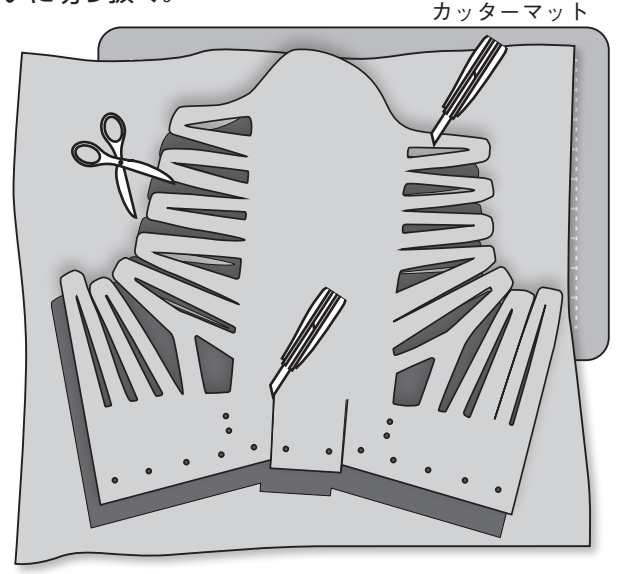


4 ^{かわ} ^き ^{つく} 革を切り、パーツを作る

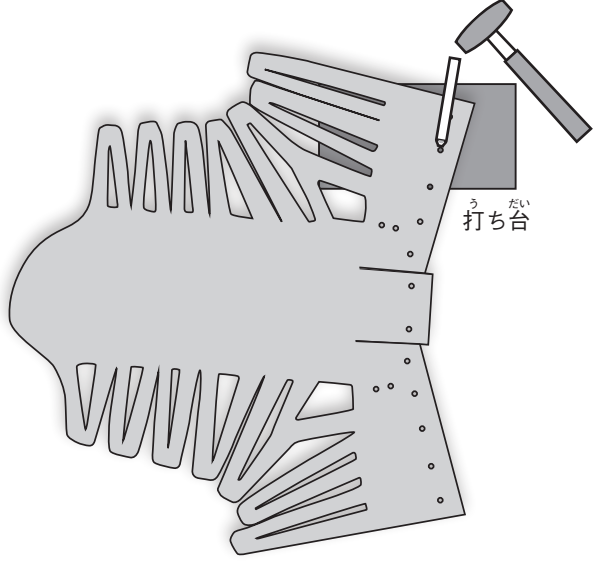
① ^{かたがみ} ^{かわ} ^お ^{せん} ^{あな} ^あ ^ば
型紙を革に置いてまわりの線と穴を空ける場
^{しま} ^{ぶぶん}
所、カットする部分をボールペンなどでなぞる。



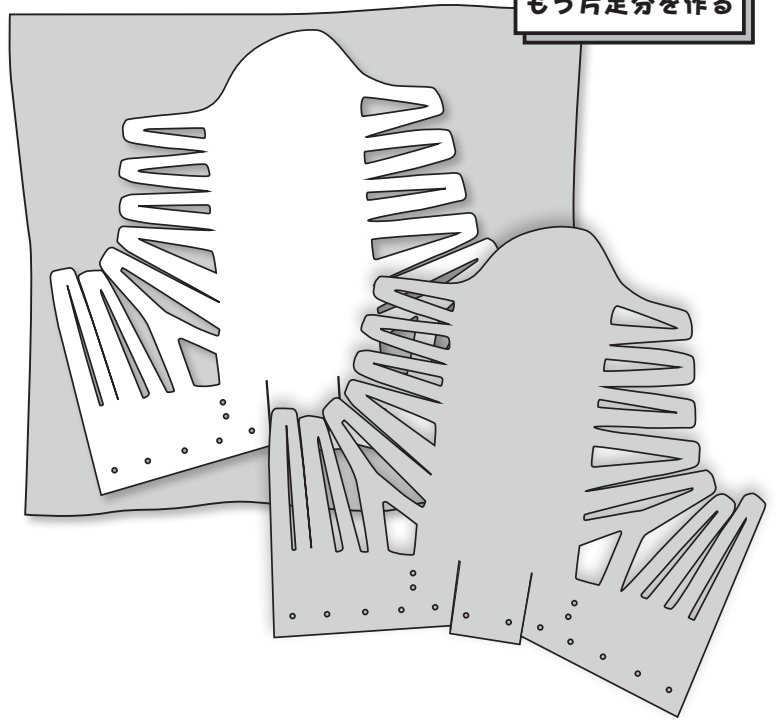
② ^{つか} ^わ ^{かわ}
はさみ、カッターを使い分けながら革をていね
^き ^ぬ
いに切り抜く。



③ ^{とお} ^{あな} ^あ
ひもを通す穴もポンチで空ける。



^{かたがみ} ^{うらがえ}
型紙を裏返して
^{おこな}
①~③を行い、
^{かたあしふん} ^{つく}
もう片足分を作る

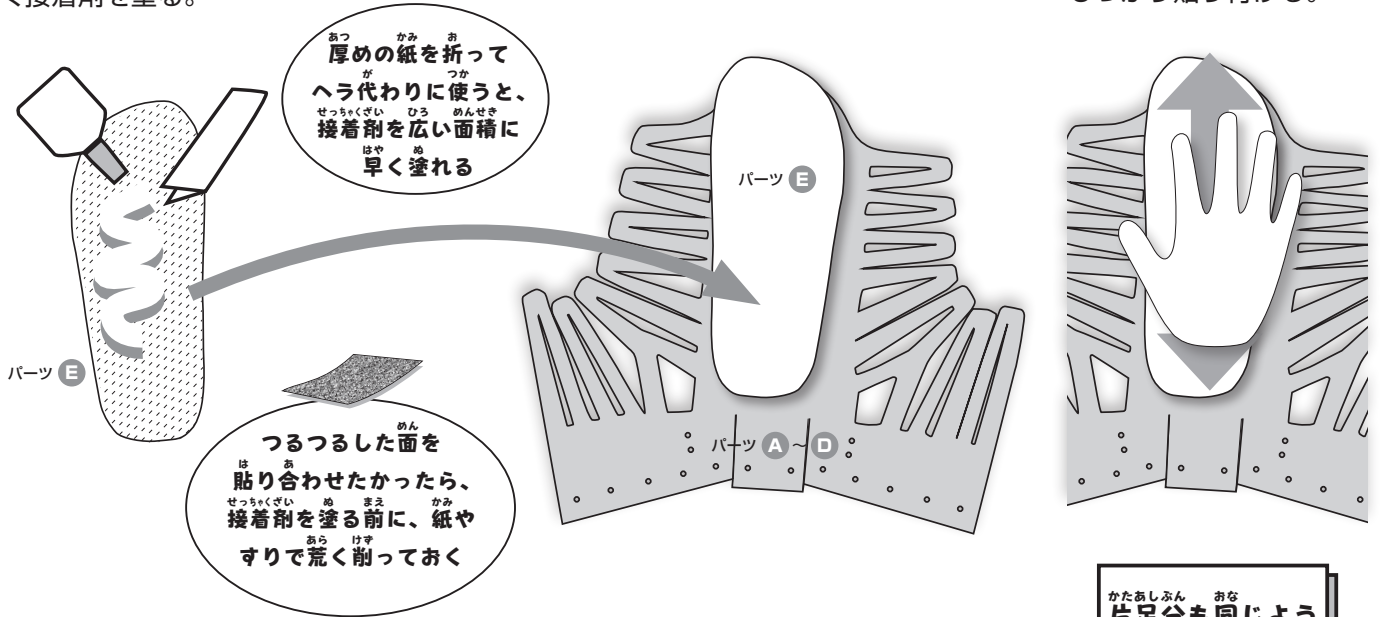


5 パーツを貼り合わせる

① **パーツE**の接着する側全面にまんべんなく接着剤を塗る。

② **パーツA～D**の底に接着する。

③ すみすみまで押し、しっかり貼り付ける。



かたあしめん おな片足分も同じように作る

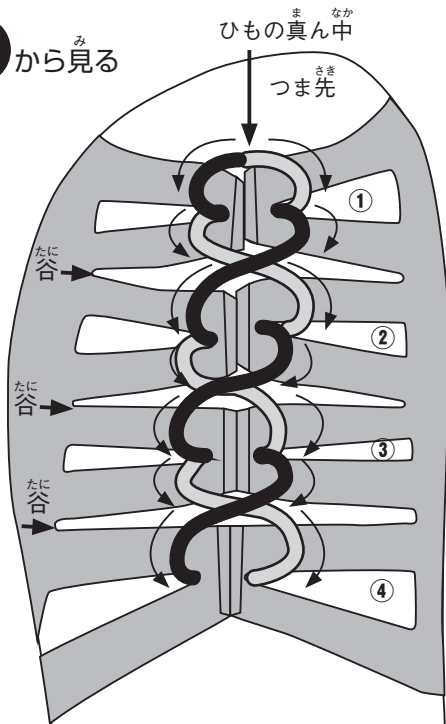
6 パーツを結び合わせる

〈前の部分〉

約2mのひもを使い、足の甲の部分閉じる。底を下にして、甲の結び目を合わせる。つま先側の1つ目から、足首の上の7つ目の切れ目までを結ぶ。

かわひもの先端は斜めに切っておくと適しやすい

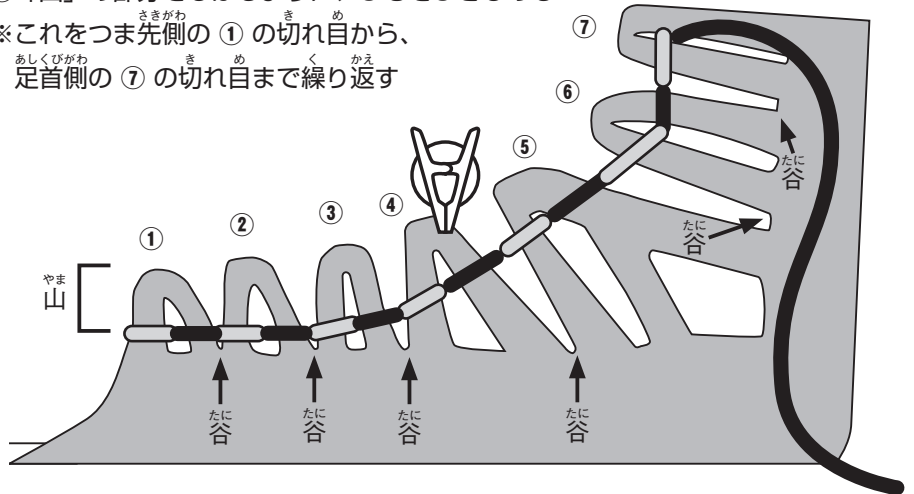
上から見る



- ひもの真ん中を、左右の革の合わせ目とそろえる
- ひもの右端は、右の切れ目の外側から左の切れ目へ通す
- ひもの左端は、左の切れ目の外側から右の切れ目へ通す
- 次に左へ出したひもの端を「谷」の部分で右に戻す
- 右へ出したひもの端を「谷」の部分で左に戻す
- 「山」の部分をしぼるように、ひもをひきしめる

※これをつま先側の①の切れ目から、足首側の⑦の切れ目まで繰り返す

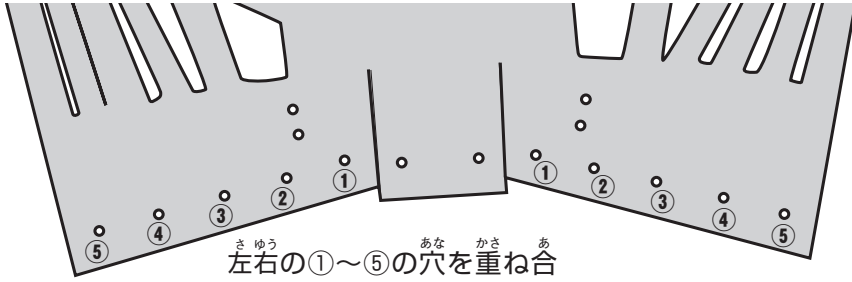
横から見る



左右の革はクリップや洗濯ばさみなどではさんでおく作業しやすい

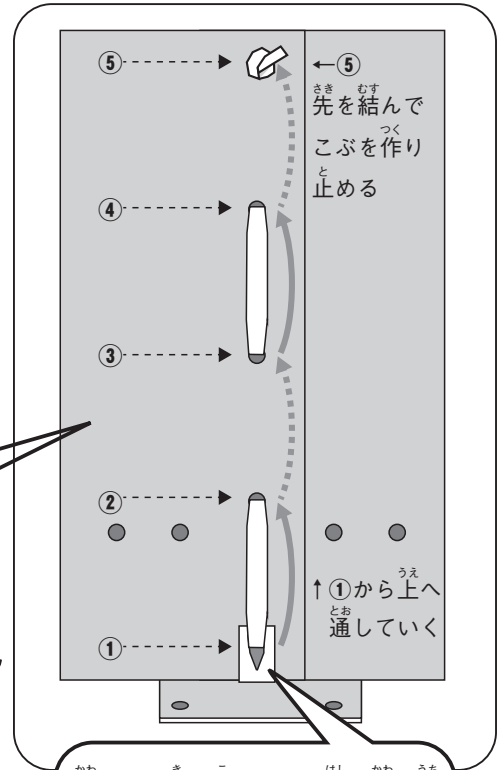
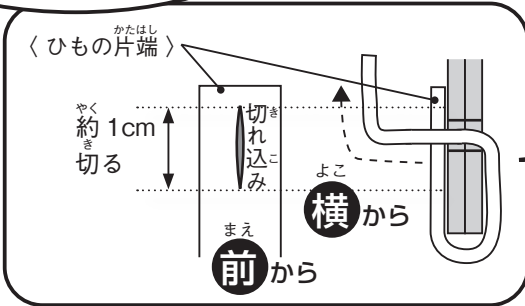
うし ぶぶん
〈後ろの部分〉

やく ようい うし ぶぶん むす と
 ひも約 25cm を用意し、後ろ部分を結んで閉じる。



さゆう ①～⑤の穴をかさねあ
 わせ、そこへ①→②→③→
 ④→⑤とひもを通し閉じる

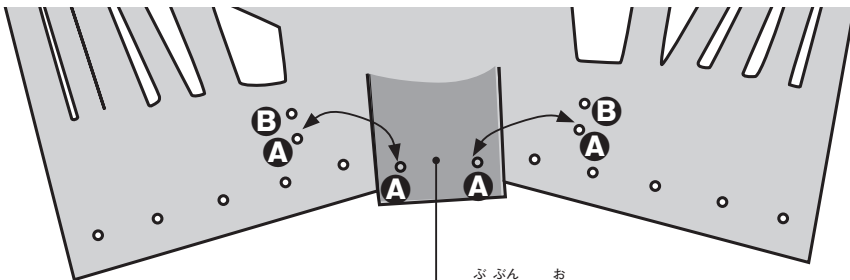
かたはし まんなか きめ い
 ひもの片端の真ん中に切れ目を入れ
 ておくと、はじめの部分を結び
 とめることができる



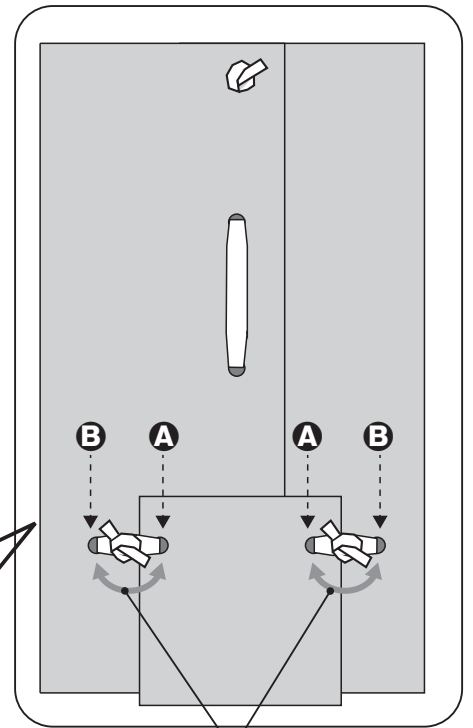
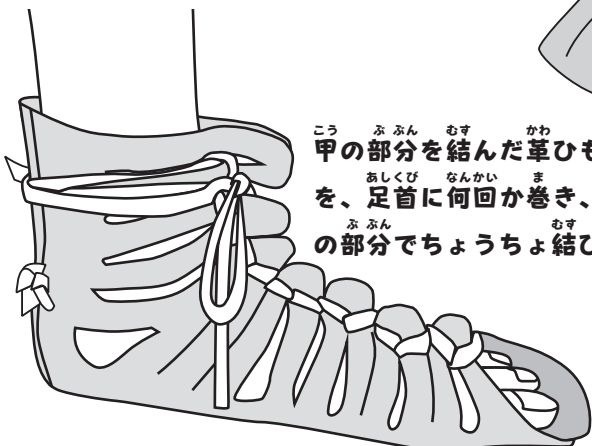
かわ ひもの切れ込みのない端を革の内
 側から外へ出し、さらにひもの切れ
 込みを通して、上へひきしめる

ぶぶん
〈かかとの部分〉

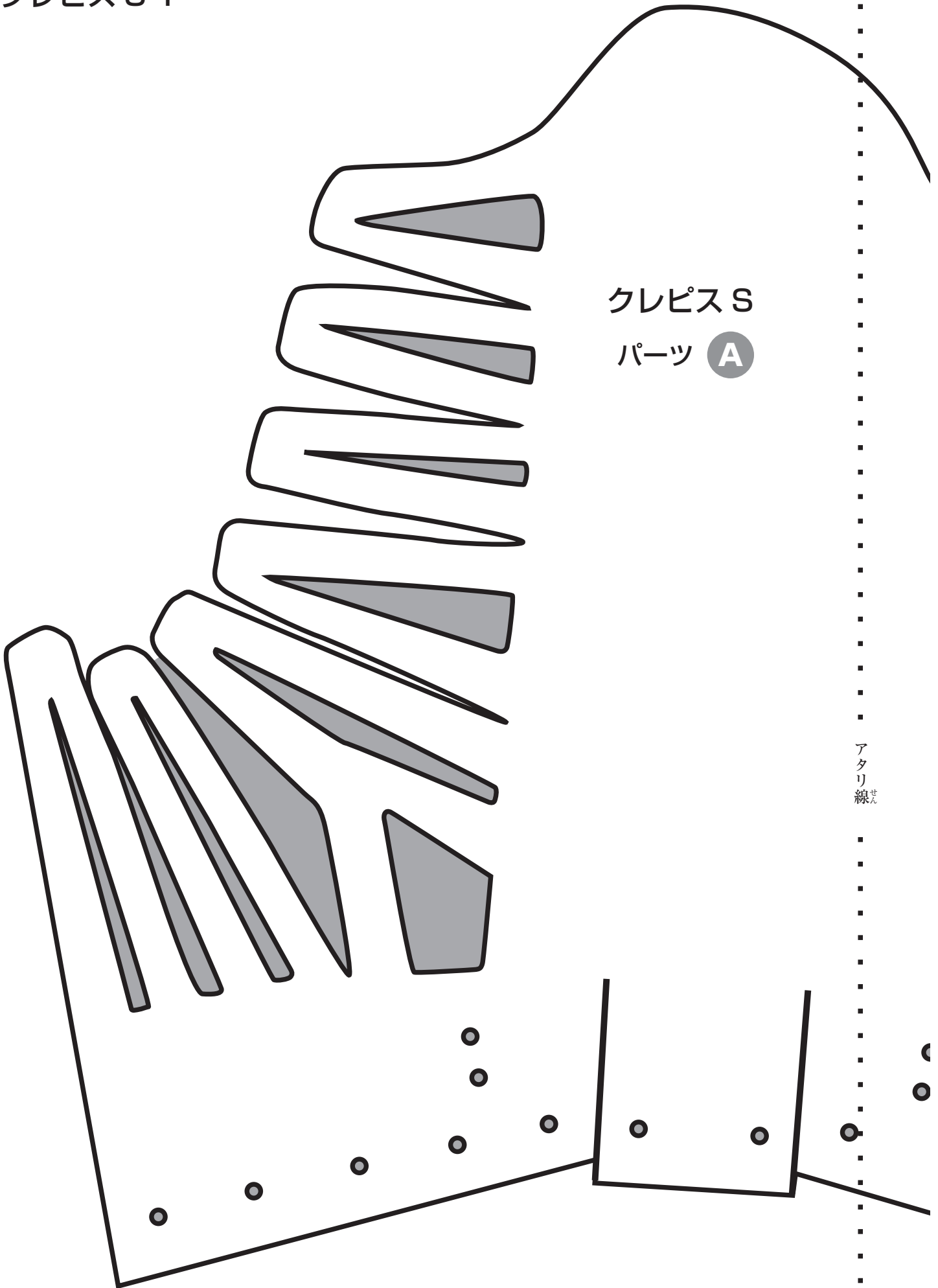
やく ようい かかと ぶぶん むす と
 ひも約 15cm を用意し、かかと部分を結んで閉じる。



かかるとにあたる部分を起こし、
 あな 穴をかさねあ
 わせる

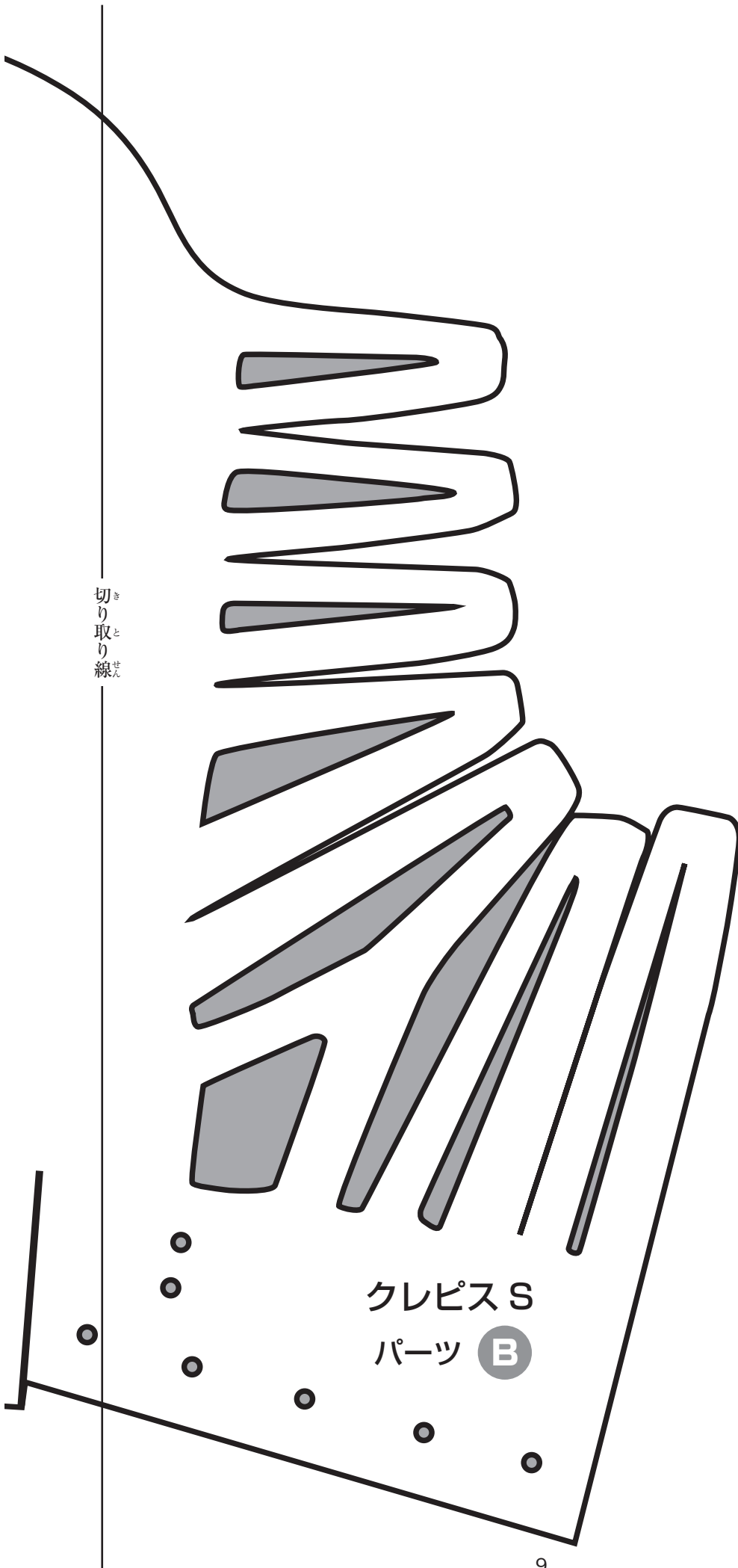


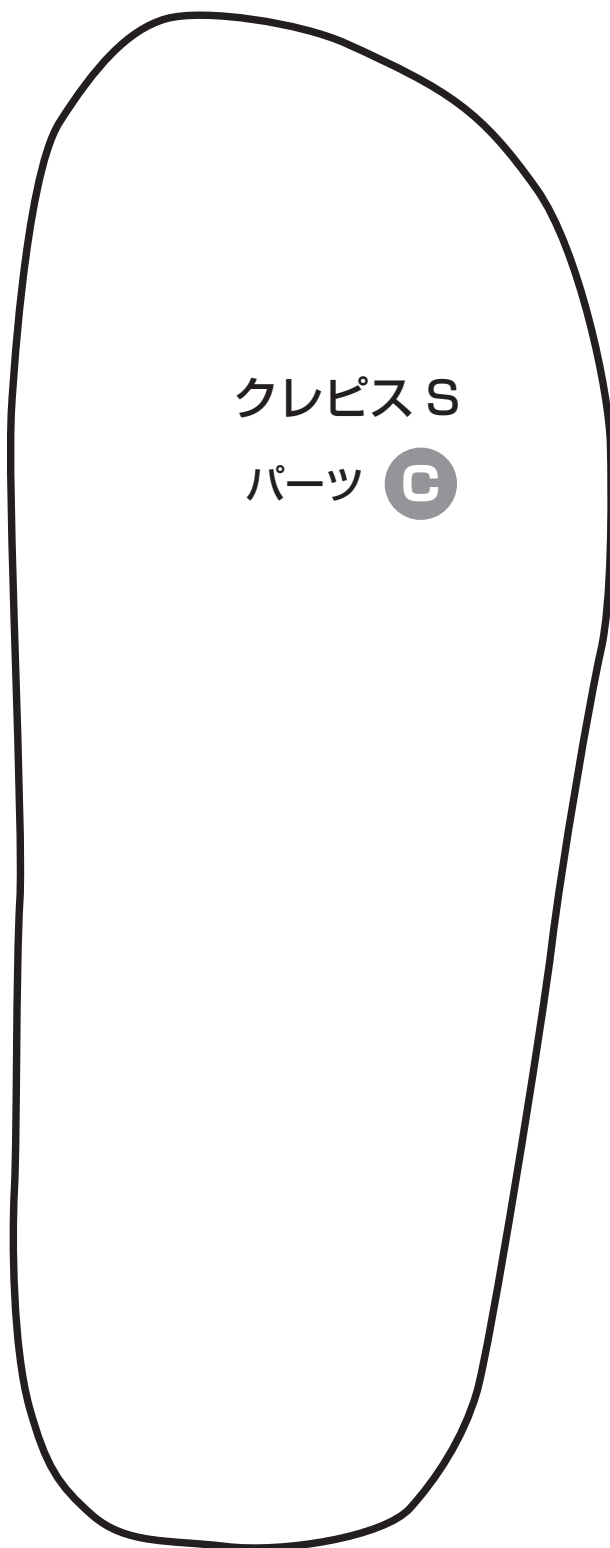
あな 穴にひもを通し、結び閉じる



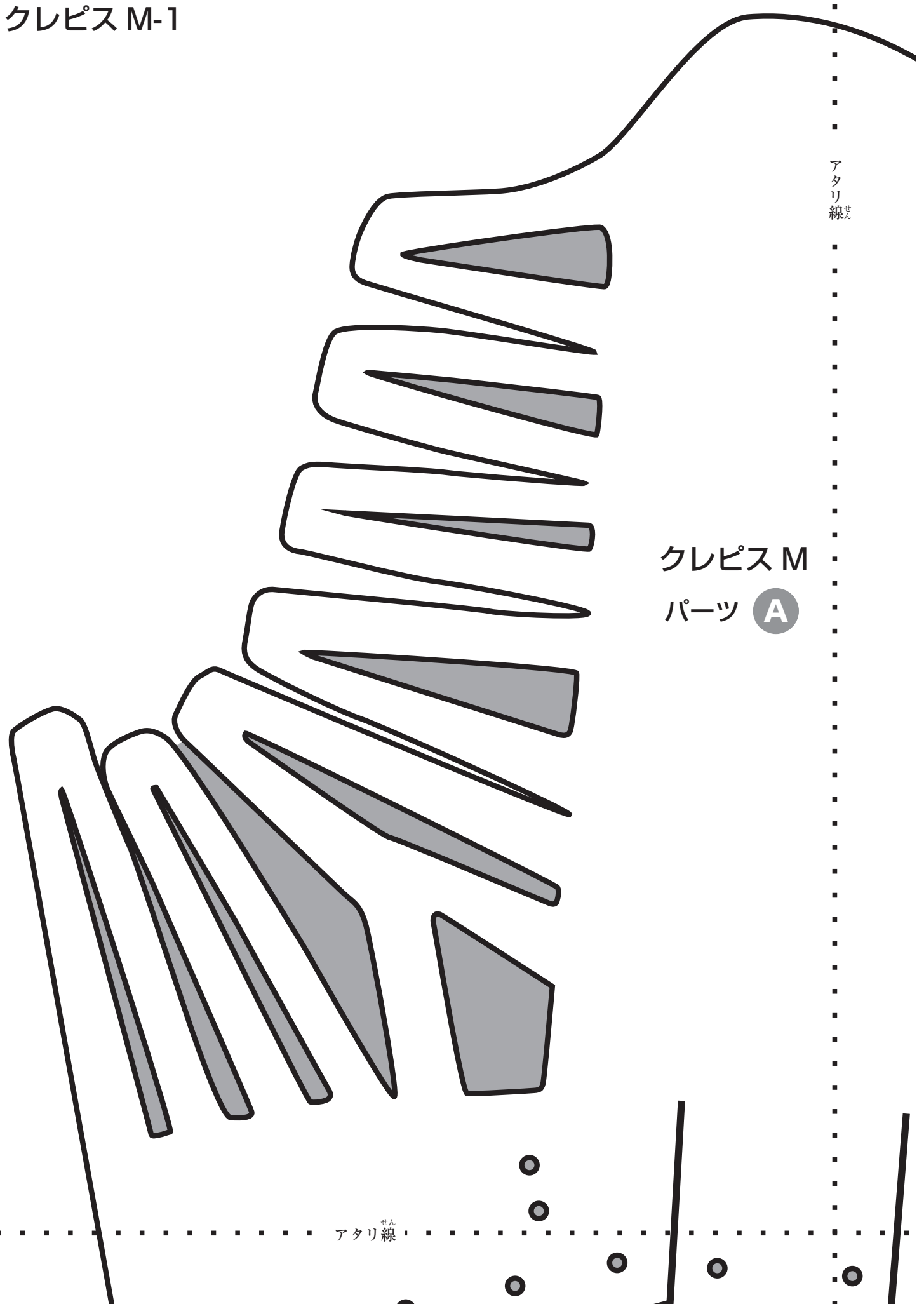
クレピス S
パーツ A

アタリ線





クレピス S
パーツ C



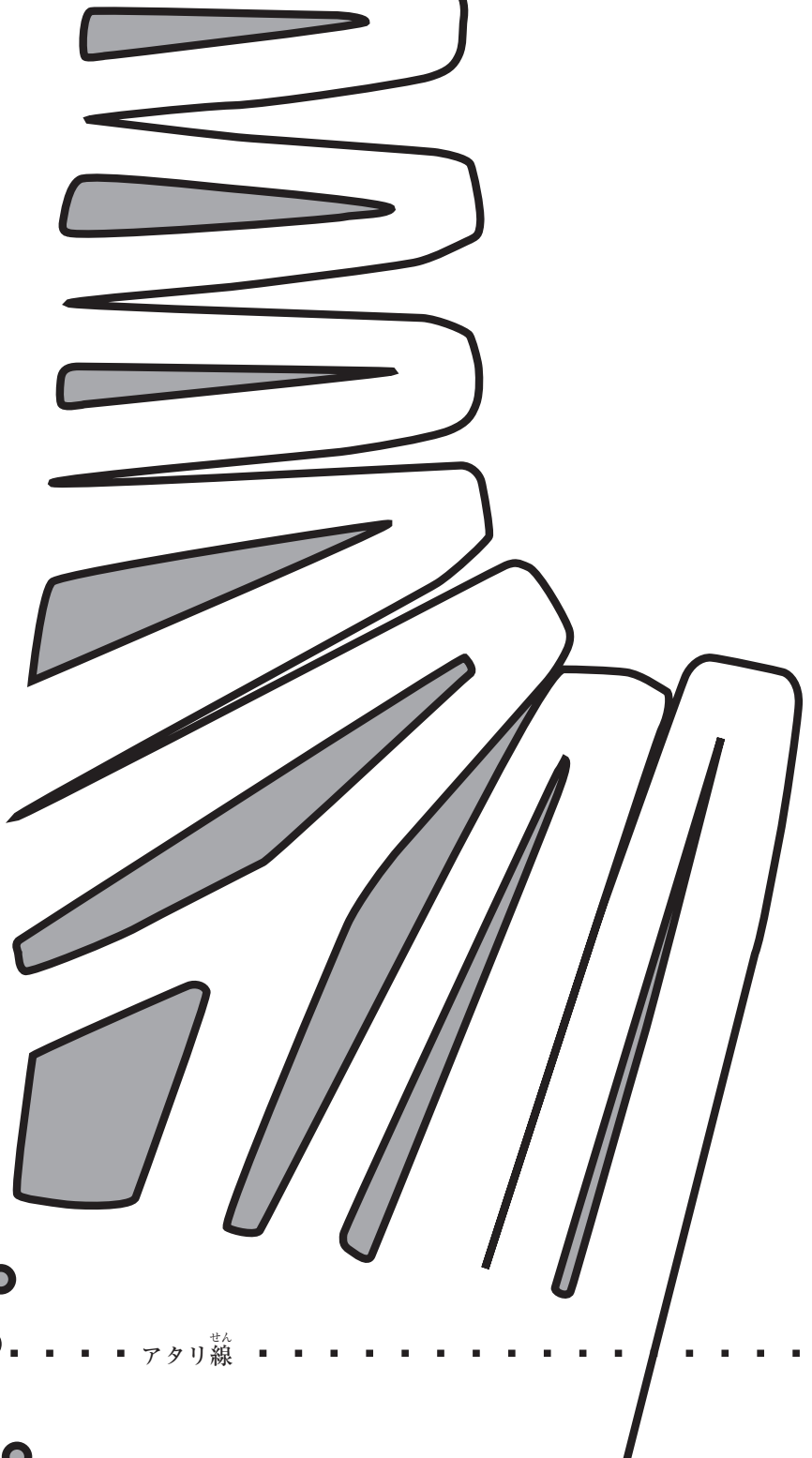
アタリ線

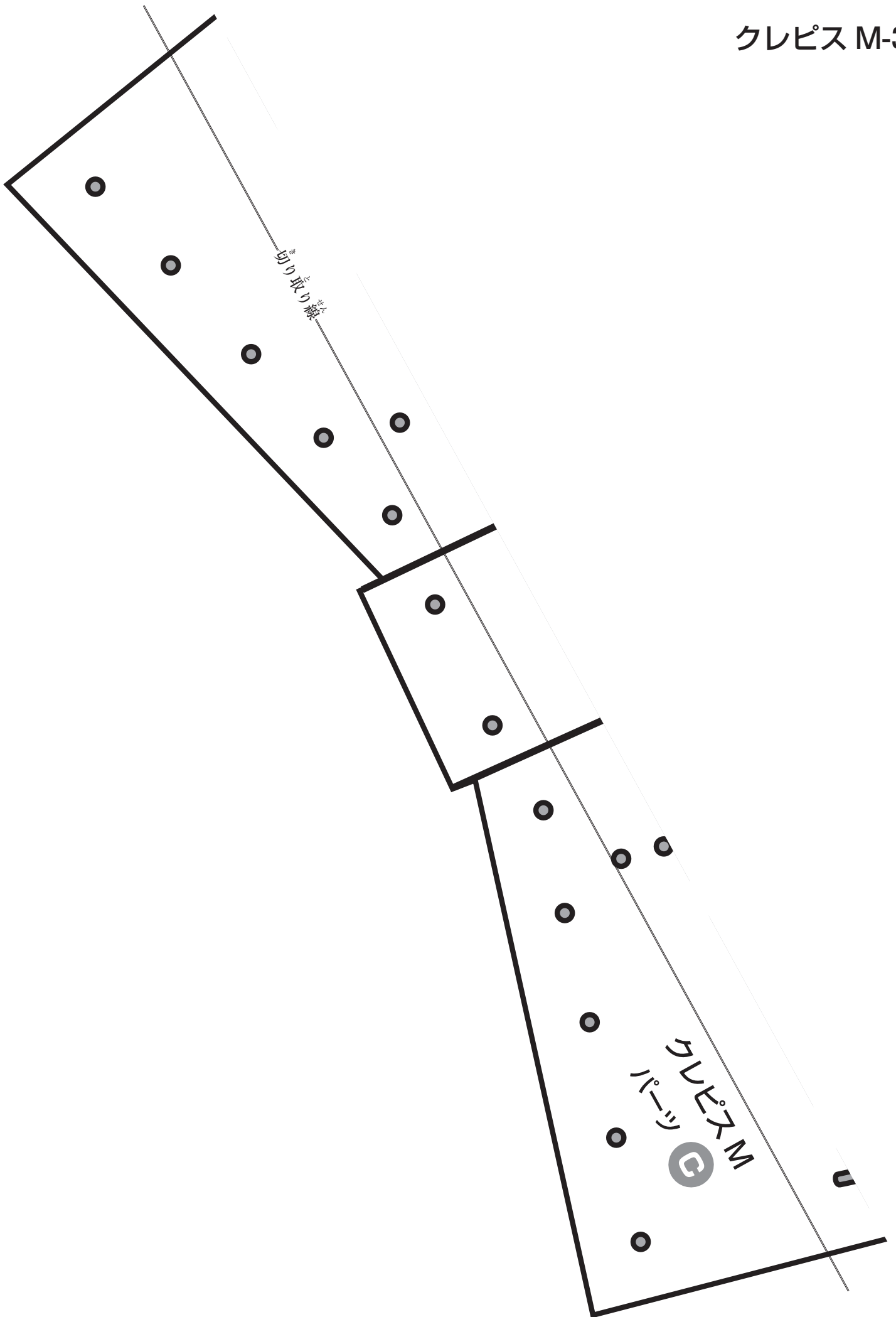
クレピス M
パーツ A

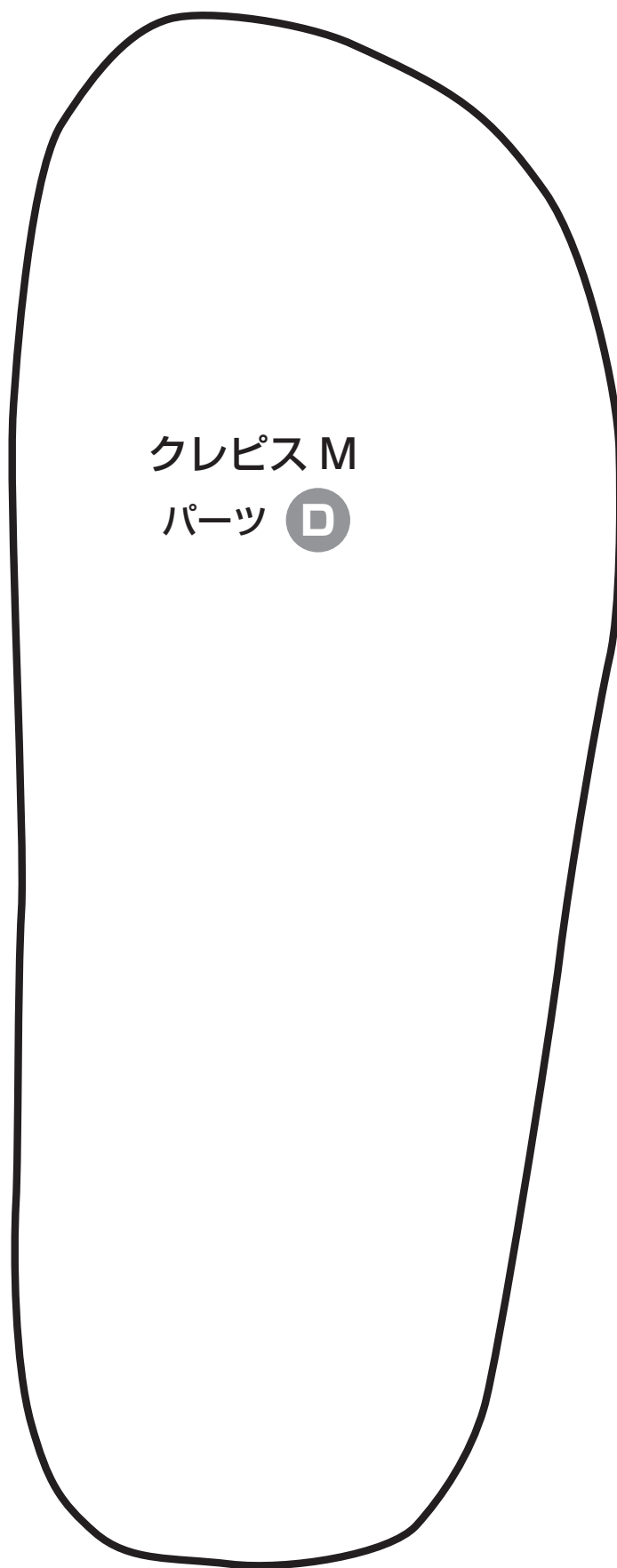
アタリ線

切り取り線

クレピス M
パーツ B

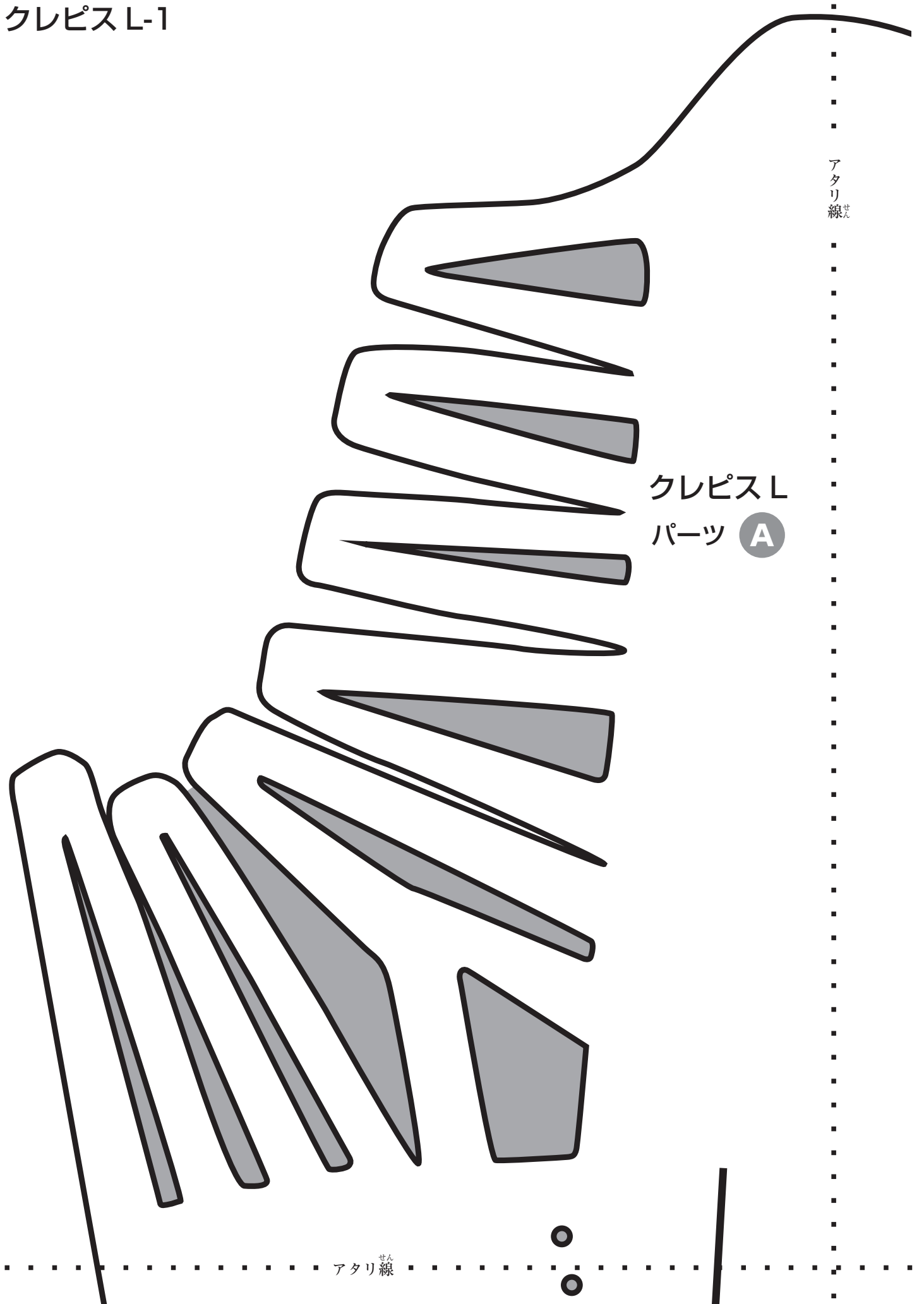






クレピス M

パーツ **D**



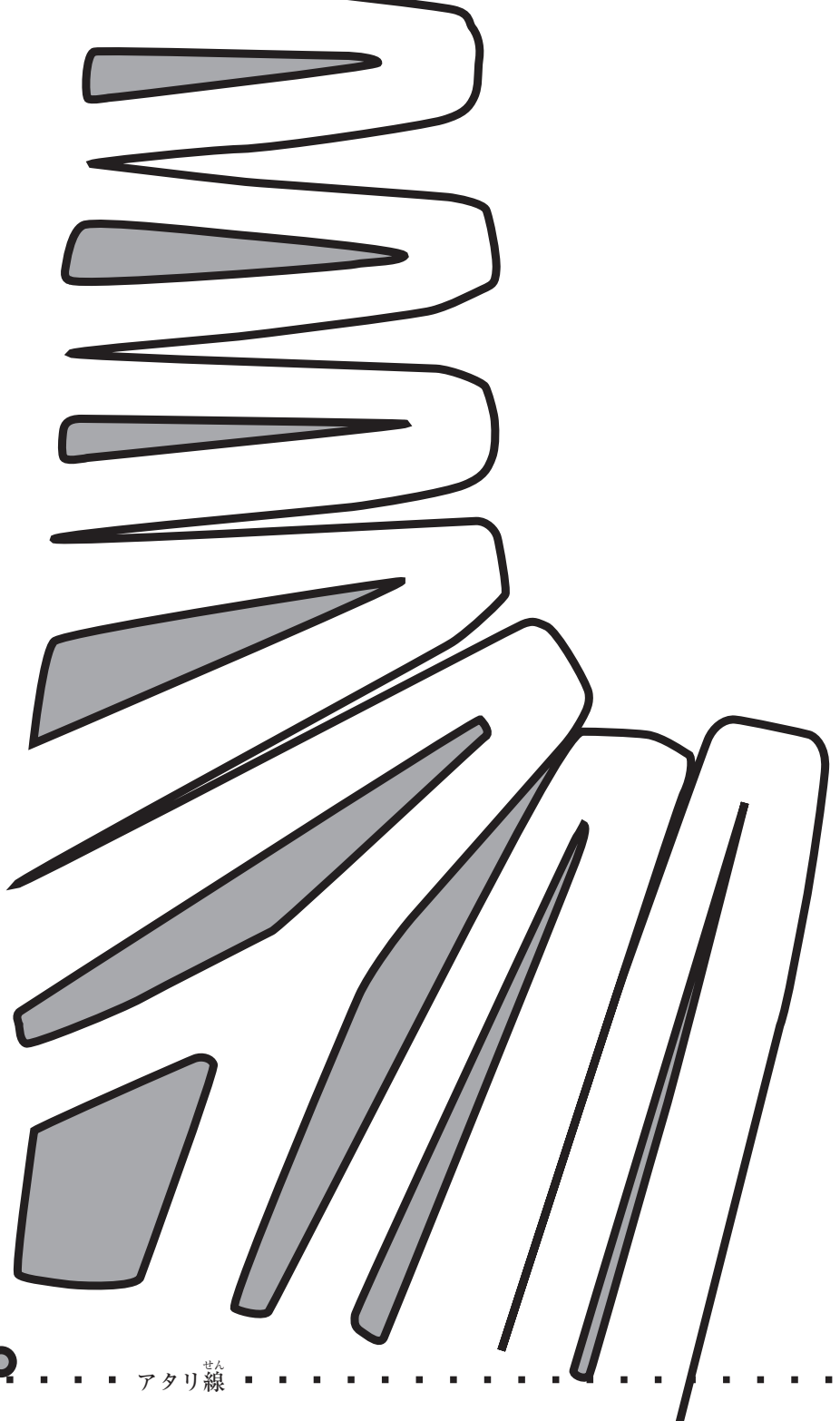
アタリ線せん

クレピス L
パーツ A

アタリ線せん

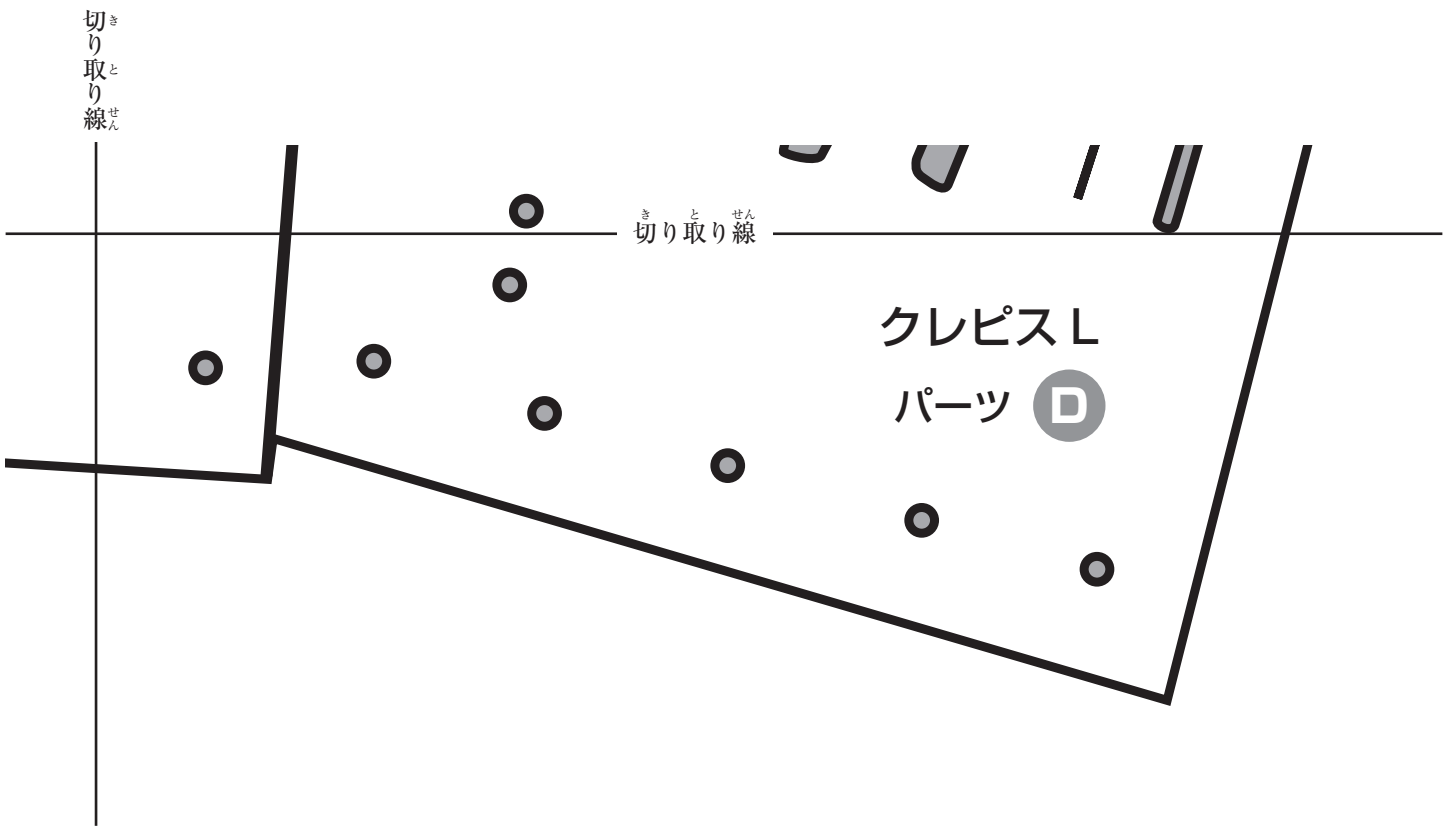
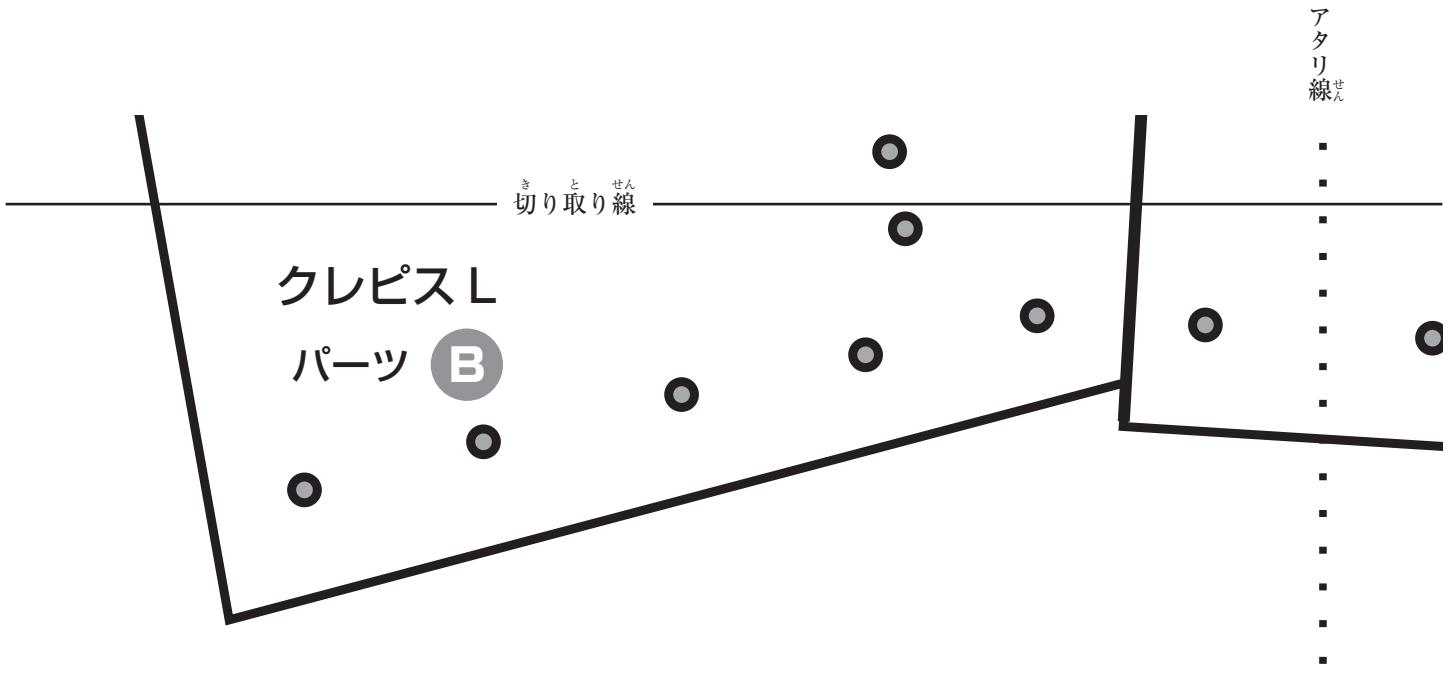
切り取り線

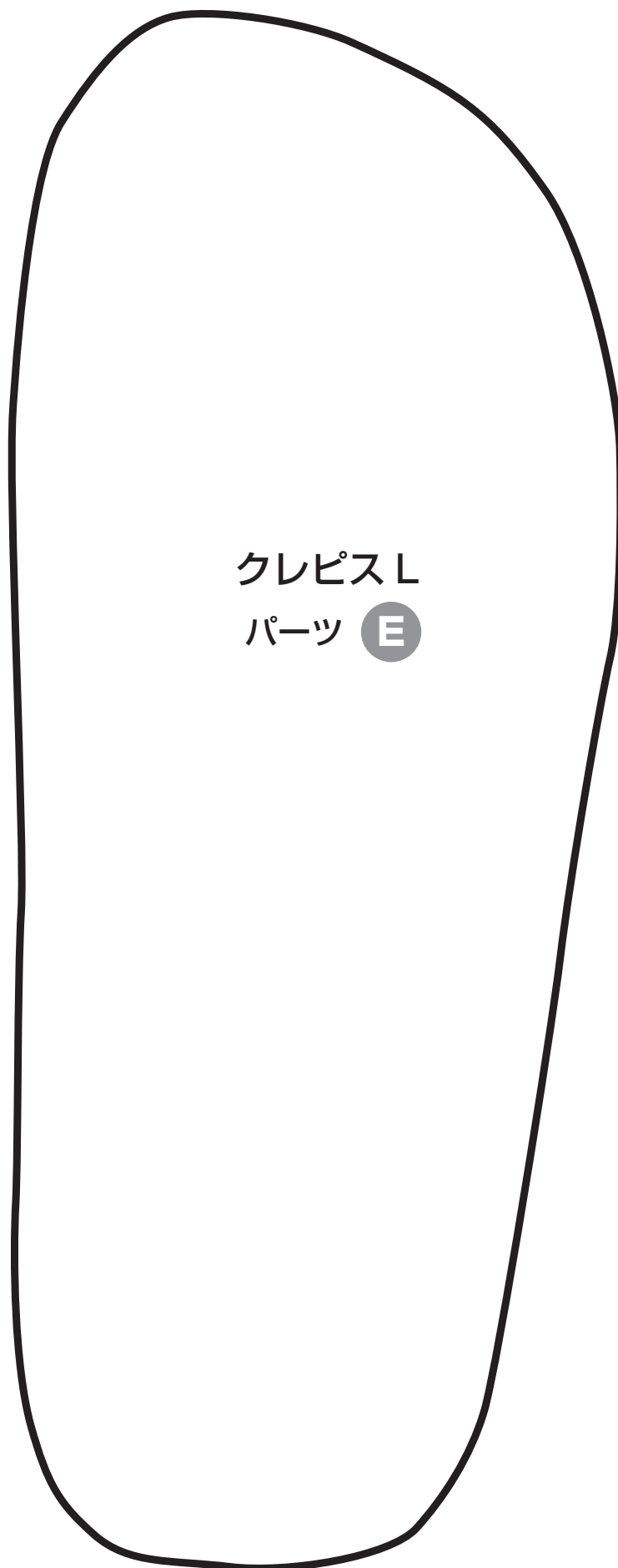
クレピス L
パーツ C



アタリ線

クレピス L-3





クレピス L
パーツ E